

次に実習へ行く人に向けてのメッセージ（2022 年度実習生）

日々の記録や授業の準備とやることが沢山あったり人によっては朝が早かったりと大変なことも沢山ありますが、それ以上に子どもたちの健気な姿に元気をもらったり励まされたりすることが多かったです。何事にもやってみよう、楽しもうという前向きな姿勢が大きな学びにつながるのではないかと感じています。

3 週間は思っていた以上にあっという間で、子どもたちとかかわる時間や行動観察・実態把握をする時間を大切にする。他の実習生や配属クラスの先生など周りを頼ることが大切で、困ったことや迷ったことがあればすぐに聞く。1 週目からそれぞれの生徒とかかわることを意識し、特定の生徒だけと深くかかわるのではなく全員と同じくらい関わられるように意識すること。

自分が思っている「自分の良いところ」を活かした授業を作っていくことが、自分らしい授業の第一歩だと思います。ふじのめの皆さんからたくさんのことを学んで、気持ちよく実習を終えられることを願っています。

3 週間はあっという間なので、児童生徒に対しても、教職員の方々に対しても自分から積極的に関わるのが大切です。挨拶は、はっきり大きな声で、表情を意識して行くと良いと思います。子どもに合わせにいくという姿勢が大事で、粘り強く関われば子どもは心を開いてくれます。配属学級内のグループや授業づくりのペアと連携を図り、助け合うことが大切です。

自分から積極的に考える、行動する、やってみることを心がけることで、自分にとってよりよい学び、実習になると思います。一つのクラスに複数人の実習生が配属されることになると思います。同じクラスに配属された一員としての自覚と責任をもち、仲間と協力する姿勢を大切にしながら頑張ってください。

実習生は何回か授業をしますが、子ども達にとっては毎日の授業の学びは 1 回しかありません。実習に参加させて頂けることに感謝の気持ちを忘れずに、自分たちで動けること（掃除や実習生控え室を整える）は、積極的に取り組むと良いと思います。